



ソフトウェア技術

AUTOMATION FRAMEWORK 2.1

Automation Framework は、自社の統合.NETベースエンジニアリングツールを容易に早く開発するための、開発プラットフォームです。

エンジニアリング機能

オートメーションソリューションの複雑さが増すにつれ、エンジニア労力がますます増加しています。一方、今日使われているツールは、デバイスに依存し互いに互換性がないため、異質なシステムの統合に膨大な労力を要しています。Automation Framework を使うと、オートメーション分野の異なるエンジニアリングタスクのために、.NET ベースの一貫性のある同質ソフトウェアアプリケーションを作成できるので、オートメーションソリューションの扱いを、全体で使用できる1つのタスクとして使用できます。Automation Framework の主なターゲット：

- 標準化されたソフトウェアのルックアンドフィール
- 1 プラットフォームに統合された、すべてのソフトウェアコンポーネントに共通の一貫性あるデータ
- すべての統合されたソフトウェアツールの操作の一貫性
- 既存コンポーネントの再利用による、新しい.NET ベースソフトウェアツールの早期開発

AUTOMATION FRAMEWORKの基本技術

Automation Framework をベースにしたソフトウェアツールは、多くの個別ソフトウェアコンポーネントで構成されています。ツールの実際の構成、つまり各ソフトウェアコンポーネントは、1 または複数の XML コンフィグレーションファイルにより決められます。この意味で、ベースコンポーネントとアプリケーションコンポーネントは区別されます。ベースコンポーネントには、Microsoft® Visual Studio によるプログラミング用テンプレートが統合されています。Automation Framework をベースとする各ソフトウェア技術のベースは、次の Automation Framework ベースコンポーネントにより提供されます：

- **Component Framework** は、コンポーネントのほかに XML コンフィグレーションとお客様のツールの拡張を管理し、ブラックボックス原則に従うすべての.NET ベースコンポーネントの、容易な再利用を可能にします。統合コンポーネントのインターフェースが.NET 標準に従っていれば、このコンポーネントは Component Framework のサービス(インターフェース)を介して通信できます。
- **UI Framework** には、出力ウィンドウ、ツールボックス、設定可能メニューとツールバーなどのユーザインターフェース要素が含まれています。これによりお客様のソフトウェアのルックアンドフィールを確実に統一し、制御を取り扱う上の基本機能を提供します。
- **Object Store** は、中央データ管理のためのベースです。これが技術ベースを構築し、その上で専用データモデル(例：プロセスデバイスデータの処理に使用)を開発します。データ保存は、XML またはバイナリ形式です。既存デバイスはインポートでき、新しいデバイスは Catalog Editor で作成し、新しいデバイスクラスは UML で指定します。Object Store の使用はオプションです。このほかに、その他のデータモデルも統合できます。

AUTOMATION FRAMEWORKをベースとする 多くのアプリケーションコンポーネント

KW-Software 自身も、Automation Framework をその専用ソフトウェアツールの基礎技術として使っています。この意味で、KW-Software は特定タスクにすぐに使用できる多くのアプリケーションコンポーネントをこれまでに開発してきました。このコンポーネントポートフォリオは拡大を続けています。Automation Framework ベースのコンポーネント、Automation Framework ベース上の自社コンポーネントの実現、そして KW-Software の作成した既存コンポーネントの使用の可能性によって、自社ソフトウェアプラットフォームの実現が非常に容易になります。以下の KW-Software のアプリケーションコンポーネントを利用できます：

- テキストエディタ
- グラフィックエディタ
- 役割と権利を包括的に定義するユーザ管理
- DTM を使うフィールドデバイスの統一パラメータ設定用フレームアプリケーションとしての FDT コンテナ
- 安全パラメータ設定用 SAFEGRID 制御
- 選択エンジニアリングタスクに従うユーザインターフェース切り替用 Engineering Stop Bar

AUTOMATION FRAMEWORK 2.1 システム仕様

PC システム	プロセッサ	Pentium® 500 MHz 以上 (Pentium 1 GHz 推奨)
	RAM	128 MB 以上 (256 MB 推奨)
	ハードディスク	10 MB 以上の空き容量
	OS	Windows® XP SP3、Windows Vista SP2、Windows 7
	マウス	必要

提供内容

- ソフトウェア
- Automation Framework のライセンス(使用許諾)契約書
- Automation Framework 開発マニュアル
- 開発ツールの Components Configurator、Catalog Editor

KW-Software GmbH
ドイツ (本社)
Langenbruch 6, 32657 Lemgo
Germany
Phone +49 5261 9373-0
Fax +49 5261 9373-726
Email info@kw-software.com

日本
横浜市港北区新横浜 1-7-9
友泉新横浜一丁目ビル 6F 〒222-0033
Phone 045-470-7114
Fax 045-472-7124
Email info-japan@kw-software.com

www.kw-software.com